

箱根ラリック美術館 開館15周年
ルネ・ラリック 生誕160年



想いをかたちにときめく香水瓶
目には見えない香りのイメージを形にし、ストーリーを語る香水瓶、
秘めたドラマを匂わせながらイメージネーションをかきたてる、その広告。
それぞれが映す時代、そして、人びとの想い。

ドラマチック ラリック

Dramatic
LALIQUE

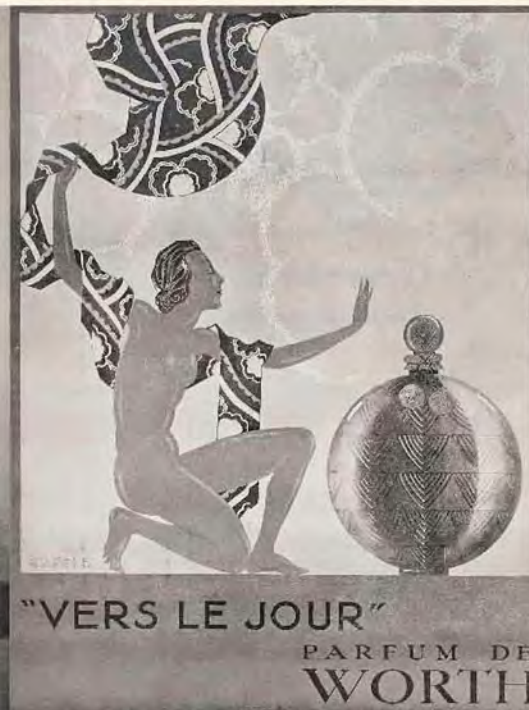
2020年9/12(土) —
2021年3/21(日)



箱根ラリック美術館
LALIQUE MUSEUM, HAKONE

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186-1 TEL:0460-84-2255
開館時間 9:00~17:00(美術館入館は16:30まで) 無休

【主催】箱根ラリック美術館
【協力】アダチヨシオ コレクション、芳賀博子コレクション
【香りの特別協力】株式会社アトリエバルファン・香りのアトリエ 調香師 田代 はなよ
香水瓶:ルネ・ラリック 左から「香水A(または香水N)」リュシアン・ルロン社 1929年
「ダン・ラ・ニュー(真夜中に)」ウォルト社 1924年 「五つの花」フォルヴィル社 1926年
広告:上部「ラリックの香水とパウダーボックス」(部分)リュシアン・ルロン社1930年
下部左から「プロジェ」(部分)ウォルト社 1935年 「ヴェール・ル・ジュール」ウォルト社 1929年



ドラマチック・ラリック 2020年9/12(土) - 2021年3/21(日)

作品名を繋げると「真夜中、夜明け前に さよならは言わない。私は戻ってくる、あなたのもとへ。」という愛の詩になる

ウォルト社の香水瓶5連作



「ダン・ラ・ニュイ」
(真夜中)
1924年



「ヴェール・ル・ジュール」
(夜明け前に)
1926年



「サン・アデュー」
(さよならは言わない)
1929年



「ジュ・ル・ヴィアン」
(私は戻ってくる)
1931年



「ヴェール・トワ」
(あなたのもとへ)
1933年

ルネ・ラリック(1860-1945)といえば、真っ先に「香水瓶」を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。1900年のパリ万博でグランプリを獲得し、独創的なジュエリー作家として不動の地位を築いたラリックが、香水瓶のデザインと製造という新たな創作のジャンルを開拓したのは、香水商フランソワ・コティとの出会いがきっかけでした。

ラリックは目には見えない香りの魅力やイメージを、花々や真夜中に輝く月といった自然の優美さや都会にそびえる高層ビルのスタイリッシュさに例え、瓶の造形やデザインで表現しました。容器という枠を超え、美しく繊細な意匠に物語(ドラマ)がこめられたラリックの香水瓶は、またたく間に人びとの心を掴みました。時には大切な人への愛を、そして時には戦場からの帰還への願いを、さまざまな想いを代弁する贈り物として、永く愛されてきたのです。

本展では、ラリック生誕160年、そして、箱根ラリック美術館開館15周年を記念し、ラリックが手がけた香水瓶の数々を、華やかなりし時代のパリを映したその香水の広告とともに展示いたします。モダンでスタイリッシュなデザインに、たくさんの想いを秘めたドラマチックなラリックの香水瓶の世界をご堪能ください。



1



2



3



4

1. 広告「ダン・ラ・ニュイ」1924年 ウォルト社
2. 香水瓶「シクラメン」1909年 コティ社
3. 香水瓶「女神の接吻」1928年 モリナル社
4. 広告「ヴェール・トワ」1934年 ウォルト社

今によみがえる香り
戦地へ赴く兵士たちが、再会を願う愛する女性へ贈ったという香水「ジュ・ル・ヴィアン(再会)」。
本展では、その瓶に収められていた当時の香りを再現します。



【ルネ・ラリック】 René Lalique

アール・ヌーヴォー、アール・デコの両時代に活躍した、フランスを代表する芸術家。16歳で宝飾職人に弟子入りし、カルティエなどの一流宝飾店から依頼されるほどのジュエリー作家となり、1900年のパリ万博でグランプリを受賞。コティの香水瓶をきっかけにガラス工芸家へ転身した後も、オリエント急行や豪華客船ノルマンディー号の室内装飾など幅広いジャンルで獨創性あふれる作品を手掛けた。

企画展限定スイーツ

仙石原の自然を一望できる店内で、旬の素材を厳選したカジュアル・フレンチと、企画展限定のスイーツをお楽しみください。

ラリックがデザインした香水瓶「ダン・ラ・ニュイ」をイメージしたオリジナルスイーツ。(写真はイメージです)



CAFÉ & RESTAURANT **LYS**

ル・トラン (オリエント急行)

SPECIAL EXHIBITION **LE TRAIN**

パリと南仏を結ぶ「コート・ダジュール号」(1929年製)として制作され、のちに「オリエント急行」としても使用された車両内の豪華な内装は、ラリックによるもの。クルーの解説を聞きながら、優雅なティータイムをお過ごしください。



[料金]2,200円(デザートセット付き) [所要時間]45分
[予約時間]10:00~16:00(1時間ごとの交代制)※当日、現地にて要予約



箱根ラリック美術館 LALIQUE MUSEUM, HAKONE

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
営業日:年中無休(※臨時休館の場合あり、最新情報は公式ホームページをご覧ください。)
入館料:大人1500円/大・高生・シニア(65歳以上)1300円/中学生・小学生800円
神奈川県下柄木郡箱根町仙石原186-1 TEL:0460-84-2255
<http://www.lalique-museum.com/>



小田急ロマンスカー・電車・バスご利用の場合

- 箱根登山鉄道「箱根湯本」駅より、箱根登山バス「湖尻・桃源台」行きにて約30分「仙石案内所前」下車
- 新幹線・JR「小田原」駅より、箱根登山バス「湖尻・桃源台」行きにて約45分「仙石案内所前」下車
- 小田急箱根高速バス「新宿」駅より約120分「箱根仙石案内所」下車

お車をご利用の場合

- 東名御殿場I.Cより乙女峠経由、仙石原まで約20分